

この画像、あなたなら、どう**検索**しますか？

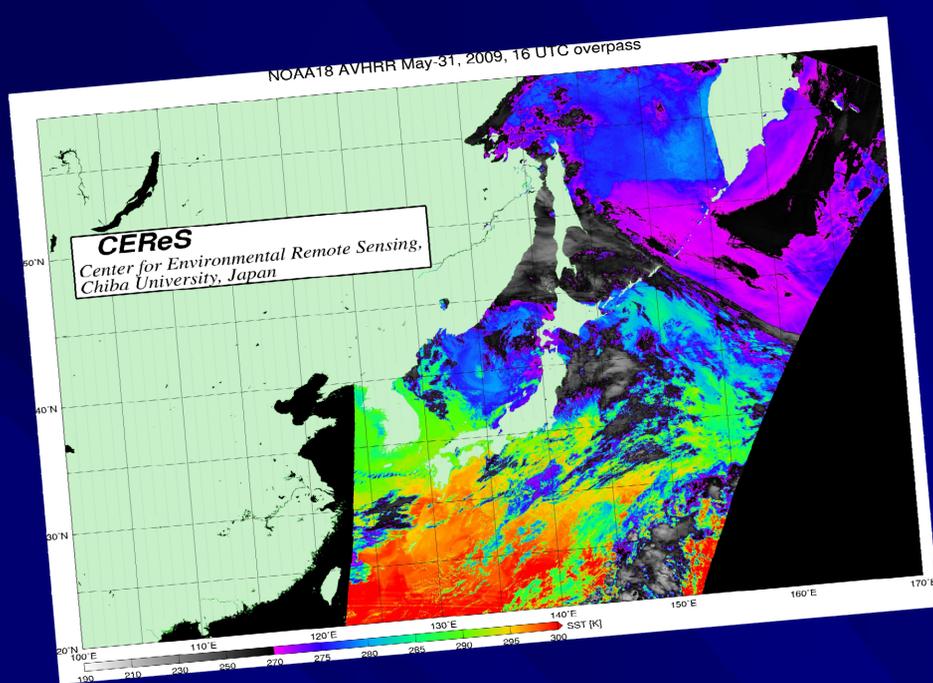


"Data-driven"

データの使い方を利用者に委ねることで研究の可能性を無限に広げてゆくのがe-Scienceの魅力。

でも、アクセスできなければ、その可能性は眠ったまま。

「最良の検索キーは、利用者が知っている」これが私たちの出発点です。



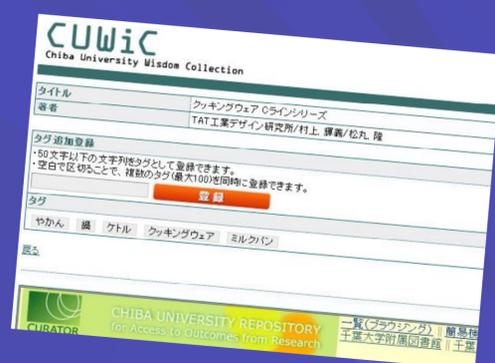
Folksonomy が、e-Science を変える。

Social Tag が、データに**命**を与える。

「みんな」で築く e-Science、**リポジトリ**から始まります。

教員と図書館のコラボレーション

2008年、IRコンテンツにソーシャルタグを付与するシステムを開発。



「メタデータから漏れていたキーワードが、タグによって補われていた」

「他のタグからの連想で、新たなタグが付与された」
実証実験によって確認された効果の一例です。

2009年は「教員と図書館の連携」を図りながら、実証実験を拡大します。

e-Science基盤構築のためのデータ・キュレーション機能拡充の実証実験
代表機関: **千葉大学** / 連携機関: **北海道大学**, **金沢大学**, **大阪大学**, **九州大学**